

兵庫県立人と自然の博物館

博物館実習 実習日誌

大学名	大学
学部名	学部
学科名等	
実習生氏名	



注意事項

・ 服装

来館者対応実習は、基本的にフォーマルな服装（クールビズ対応）で行う。

野外での観察や作業がある場合には、汚れても良い服装や靴、着替え、長ぐつ、雨具、野外用の筆記用具、水筒・弁当などが必要になる場合がある。担当研究員の指示に従って準備をすること。

・ 心構え

博物館実習の多くのプログラムは、一般の来館者や出かけて行った先の地域の方を対象として説明や案内などのサービスを提供する側の立場で接することが必要である。その際には、様々な立場の方が対象となることが余儀なくされる。一般の方や子ども、高齢者など、相手の体場によって丁寧な対応をすること。知識を提供することだけがサービスではないという認識が必要である。

分からない問題や未知の課題、政治的なこと、価値観や世界観の異なる問題や問いかけにも中立に対応しなければならない。その際に、分からないことは、はっきりと分からないと答えることや、「自分が分かる部分はここまで、それ以上は研究員に確認をする。」といったように無理をせず対応することが求められる。博物館のスタッフであるという意識を持つと同時に、相手の立場で学習や理解の向上を促進するために必要なことを考えながら行動することが大切である。

・ 実習時間等

基本は9時～17時45分。生涯学習課にある出勤簿に押印の上、実習に臨むこと。

野外活動等、集合時刻や集合場所が博物館とは異なる場合は、事前に担当研究員の指示を聞いて対応すること。また、移動中も博物館のスタッフであることを意識して行動すること。

記入について

・ 実習開始までに

実習日誌、出勤簿は、申込書の記入欄を参考に、大学と相談をして実習にあたること。

当館の様式を使用する場合は、両面印刷（全20ページ、10枚分）をし、1ページ（表紙）に必要事項を記入すること。「学科名等」の欄は、学籍番号等大学の事務処理上必要な事項を記入すること。

用紙、印刷した用紙全体をまとめるファイルまたはクリアファイルは、各自で用意をすること。

・ 実習開始後

実習内容について簡潔に実施した内容を記述し、以下の観点から実習の意義や感想をとりまとめることが望ましい。

- 1) 実施内容についての社会教育施設としての役割や意義について
- 2) 博物館の公的機能（資料収蔵、教育、展示、地域づくりなど）について
- 3) 実習を通じての工夫点や改善したこと
- 4) 実習生が実習内容を将来的に研究や職業で活用するためのアイデア

ページ毎に担当者に直接渡して「指導者確認」欄を記入してもらうこと。

*なお、19、20ページの「博物館実習 実習日誌〈まとめ〉」のページについては、後日評価の用紙とともに返却することがある。

博物館実習 実習日誌①～③

実習生氏名	
-------	--

実習日	平成 年 月 日()	概要	オリエンテーション (博物館)
実習内容	時刻	内 容	
所感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

実習日	平成 年 月 日() 平成 年 月 日()	概要	来館者対応実習 ()
実習内容 ・ 所感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名 印 】
-------	------------

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ④

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名 印 】
-------	------------

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ⑤

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名	印 】
-------	--------	-----

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ⑥

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名	印 】
-------	--------	-----

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ⑦

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名	印 】
-------	--------	-----

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ⑧

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名 印 】
-------	------------

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ⑨

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			
次回予定等	持ち物等 特記事項があれば記入		

指導者確認	【 指導者名	印 】
-------	--------	-----

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 ⑩

実習日	平成 年 月 日()	実習生氏名	
実 習 内 容	概 要		
	詳 細	時 刻	内 容
所 感			

指導者確認	【 指導者名 印 】
-------	------------

実習内容・所感等が表面で書き切れない場合に使用する。
配付された資料等を貼り付けしてもよい。

博物館実習 実習日誌 〈まとめ〉

実習生氏名	
博物館実習を終えて	

指導者より	【 指導者名 印 】
-------	------------

